

震災から4年

市内各地の追悼行事

3.11いわき追悼の祈りと復興の誓い2015

3月8日、市主催による震災で犠牲になられた方々への追悼式が(いわき芸術文化交流館アリオス)で執り行われました。約800人の市民らが参列し、黙とうおよび献花を行い、いわきの復興と再生への誓いを新たにしました。



自由献花に参列した市民の方々



ハワイからの贈歌を披露する歌手のダフィさんら



遺族を代表し追悼の辞を述べる、荒川明さん

[3月8日] 平中央公園

キャンドルナイト～希望の灯あかり～inいわき



夜の公園に温かに浮かび上がる「いわききぼうのともしび」



キャンドルカップや希望の葉カードにメッセージを書く女の子

[3月11日] 平中央公園

第4回祈りの集い



暗闇を照らす、復興への思いが綴られたキャンドル



市内を中心に活動する「花音」によるライブも行われました

久之浜・大久地区

[3月8日] 久之浜・大久地区追悼花供養 [3月11日] 浜風商店街 献花の集い



工事が進められている海岸堤防近くに設けられた会場。全国から送られた花が飾られました



会場設営から、参列者への食事提供まで。今年も地区をあげて開催された追悼花供養



雨が激しく降り続くなか、傘もささず手を合わせる多くの参列者の姿が見られました



地元や市内外から多く人が追悼のため参加しました(写真は市川市「ぷっちゃんべりんず」の群舞)



おそろいのシャツを着た100名が一緒に作った人文字、雨中に咲く「花」動画が見られます



雨で足元もぬかるむなか、久之浜・大久自安我楽継承会有志がじゃんがらを奉納

3月8日、雨が降り続くなか行われた久之浜・大久地区追悼花供養。震災以来久之浜で活動を行うFKP、3・11生の会、まちづくりサポートチームなどボランティアの面々も顔をそろえました。参列者は市内はもとより遠くは沖縄から送られてきた花を手向け、震災で犠牲となられた方々に対し鎮魂の祈りと復興への誓いを胸に手を合わせていました。3月11日には、浜風商店街主催の献花の集いが行われ、多くの人が午後2時46分黙祷を捧げました。



3月11日、献花の集いの会場にて。多くの人が一緒に午後2時46分を迎えました

小名浜地区

[3月11日] 中之作港津波の碑 除幕式

中之作港前に「中之作港津波の碑」が建立されました。碑には「津波が来たら逃げる」という教訓を伝える碑文と、栄えていた時代の中之作漁港や津波の写真を彫刻。隣には津波の高さを表すポールも建てられました。



式には地区住民など約100名が参加。除幕前に中之作折戸モニュメント委員会の松本茂委員長があいさつ



震災の年に生まれた八幡香凛ちゃん(左)と坂本歩夢くん(中)、吉田陽葵ちゃん(右)の3人が除幕